

きぼう

ほっかいどう やかんちゅうがく かい
「北海道に夜間中学をつくる会」
かいほう なんばー
会報 No. 9

だいさんかい
第三回
じしゅやかんちゅうがくこうりゅうかい
自主夜間中学交流会
ほっかいどう
北海道

くしろししゅさい
釧路市主催

じしゅやかんちゅうがく 自主夜間中学フォーラムが かいさい 開催されました。

9月29日（土）、北海道自主夜間中学フォーラムが釧路市生涯学習センター（まなぼつと幣舞）で開催されました。この主催は釧路市、協力に「釧路市自主夜間中学くるかい」と「北海道に夜間中学をつくる会」、後援が北海道教育委員会と札幌市教育委員会です。

フォーラムの進行について、基調報告は見城慶和氏、生活体験発表が札幌遠友塾、旭川遠友塾、函館遠友塾、釧路「くるかい」から各一名が行いました。その後、ワークショップのテーマ、「花咲け出愛！わたしたちの夜間中学」にそって、14グループに分かれて、参加者一人ひとりが自己紹介「夜間中学との出会い」をし、わたしたちの望む夜間中学について話し合いました。それを花に描いて、なぜその花になったか、14グループがワークショップの発表を行ないました。



▲ 参加者全員の記念撮影（後は全員の自己紹介）



▲ グループで自己紹介

この企画は、釧路市と釧路「くるかい」とで案をだし、それを北海道自主夜間中学
交流会実行委員会（賀根村伸子委員長）で検討し、各自主夜間中学が了承のうえ
参加のとりまとめをしました。当日の参加者は一般市民をふくめおよそ 150名でした。



▲ 14の花咲け出愛（グループごとに発表をしました）

見城氏は、内閣府調査(2011年)、満15歳から39歳までの引きこもり人数69万6千人、
いつ自分が引きこもるか分からないという人数150万人、その両方あわせて220万人
になることを紹介しながら、映画「こんばんは」にも登場する不登校生“しんちゃん”
が夜間中学に入って声を出し、みんなとだんだん話をするようになり、全日制
高校に入学し、大学に入り就職する様子を、ビデオ放映とあわせて報告しました。

さらに、見城氏がいまやっている「えんぴつの会」でも、札幌市の中学校出身者
がイジメで学校に行けず、一回も中学校に行っていないのに、17歳の誕生日に学校
から卒業証書が送られてきて、公立の夜間中学に入学したくとも卒業証書があるた
めできず、この会で学んだことも報告されました。

この報告のむすびに、「公立の夜間中学も自主夜間中学も、もっともっと必要だど
いうことをどんなに声を大にして言っても足りない思い」であると述べました。

せいかつたいけんはっぴようしゃ しょうかい はっぴようばっすい 生活体験発表者の紹介と発表抜粋

さつぽろえんゆうじゅく たかい やすこ
札幌遠友塾 高井康子さん

「いじめや、不登校、病気などでお勉強が出来なくて悲しいお話を聴くたびに、
私はテレビに向かってさげびます。『夜間中学にいらっしやい』、『遠友塾にいら
っしやい』。そして高校に行き立派に社会に出ている若い人達が一杯います。」

あさひかわ いたうはるこ
旭川遠友塾 伊藤治子さん

「私自身、小学四年生から六年生までの三年間勉強をする事をやめてしま
ったからなのです。理由は、クラスの同級生からのイジメを受け続けていたからで

す。担任も知らぬ顔、まわりの人が信じられなくなり、口を開くのも辞めてしま
 ました。机も教室のはじっこに寄せられ、私は、クラスにはいらぬ存在でし
 た。当然、授業中手を挙げたとしても、答える事も許されず、次第に話す事も
 笑う事も勉強する意味も失くして、辞めてしまいました。」

はこだてえんゆうじゅく にしむらはる お
函館遠友塾 西村春雄さん

はいせん どうじ そつぎょう どうよう
 「敗戦と同時に卒業も同様で、
 おや せいかつ だいいち がっこう だいに
 親として生活が第一、学校が第二で、
 ちょうど こんぶ つ さいせいき たぼう
 丁度、昆布、イカ釣りの最盛期で多忙
 きゅうこう しぜん がっこう とお
 で休校し、自然に学校が遠くなっ
 た。」

お知らせ

フオーラムの
 記録誌を編集
 中
 来
 年
 三
 月
 ま
 だ
 に
 は、みなさん
 にお渡
 し
 だ
 け
 る
 よ
 う
 、
 作
 業
 を
 行
 な
 っ
 て
 お
 り
 ま
 す。

くしろ すずき
釧路くるかい 鈴木アウラさん

わたし につい じん う そだ
 「私は日系フィリピン人です。生まれも育ちもフィリピン、マニラです。なので、
 にほんご すこ
 日本語はほんの少ししかしゃべれません。」「くるかいでは、カタカナやひらがなの読
 かた か べんきょう おぼ たいへん とも
 み方と書き方を勉強しています。覚えるのは大変ですが、くるかいのたくさんの方だ
 おうえん
 ちが応援してくれるのでガンバルことができます」

ねん がつみつか きん
 2012年8月3日(金)

ぎ む きょういく とうがくしゅうき かいじゅうじつ む
義務教育等学習機会充実に向けた
 ちょうとうはさんか こっかいいんない つど ほうこく
「超党派参加・国会院内の集い」報告

しゅうぎいんだいにぎいんかいかん かいだもくてきかいぎしつ
 — 衆議院第二議員会館1階多目的会議室 —

この集いははじめ、「義務教育に相当する学校教育等の環境の整備の推進による
 がくしゅうき かい じゅうじつ かん ほうりつあん ぎ む きょういく とうがくしゅうき かいじゅうじつほうあん せいりつ め
 学習機会の充実に関する法律案(義務教育等学習機会充実法案)」の成立を目ざ
 よてい ちょうとうはぎいん さんか とうじつ うえ
 すために予定されていきました。しかし、超党派議員の参加ということで、当日は上の
 ひょうだい つど
 ような標題の「集い」となりました。

この集いは、全国夜間中学校研究会が「すべての人に義務教育を！」を掲げ、自主夜間中学と共に義務教育など学習機会充実のための法整備に向けた取り組みです。

これを受けた超党派国会議員5名、「代表：池坊保子衆議院議員（公明党）」が夜間中学校関係者、特別支援学校関係者、外国人への教育を行なう学校現場や自治体関係者の要請と内閣府の「ひきこもりに関する実態調査」（2012年7月）により、全国会議員に参加を呼びかけ、この集いを開きました。

わたしたち、北海道に夜間中学をつくる会と札幌遠友塾は、事前に道内選出の国会議員全員にこの立法化に向けた働きかけをし、集いの参加呼びかけ、資料の送付、後援会事務所へ挨拶まわり、集会前日の国会議員会館議員事務所まわりを行ないました。

当日、公立夜間中学校の生徒・卒業生、自主夜間中学の受講生・学習者などが体験発表を行ない、札幌遠友塾から受講生伊藤フサ子さんが発表を行ないました。



▲ 伊藤フサ子さんの体験発表

北海道議会・札幌市議会の意見書採択へ向けて

本年12月、両議会第四定例会において、「義務教育等学習機会の充実に関する法整備を求める意見書」が採択されるよう、両議会各会派に要望を行なっております。

■：連絡先 事務局長 泉 雅人 TEL&FAX 011-897-1426
■：住所 〒004-0004 札幌市厚別区厚別東4条5丁目9-23

「北海道に夜間中学をつくる会」URL <http://yakanchugaku.enyujuku.com/>
「札幌遠友塾 自主夜間中学」URL <http://enyujuku.com/>
釧路自主夜間中学「くるかい」URL <http://kurukai08.exblog.jp/>
（「つくる会」ホームページにリンクしています）

発行 2012年12月15日